

山北小学校
学校だより

山北っ子

H30. 5. 2
第2号

文責
 瀧上 佳宏

児童一人一人が輝き、夢実現

四月の子どもたちの欠席はたった一日。それも風邪という当然の(むしろ休むべき)欠席です。不登校の児童生徒が、学校に複数人いるのが当たり前のような今日、それだけでも素晴らしい学校に赴任させていただいたなどと、有り難く感じている毎日です。

このような素晴らしい学校ですから、本年度の学校経営方針は、学校教育目標「ゆめと思いやりを持ち何事にも元気に頑張る子どもを育

一年生を迎える会

四月二十日(金)に、「一年生を迎える会」を実施しました。

まず体育館で、上級生の出し物(歌・クイズなど)や一年生の自己紹介をしました。どの学年も思考を凝らし、一年生を楽しませようと頑張ってくれました。特に六年生の出し物の「先生の似顔絵クイズ」は、特徴をつかみうまく描けているので、子どもたちはすぐに正解を出すことができていました。

次に年の神公園に移動し、登校班ごとにお弁当をたべました。当日は、雲一つないみごとな晴天で、お弁当もいつも以上においしかったようでした。

なお、会の終了後の集団下校では、本校職員も担当地区毎に子どもたちと一緒に歩き、通学路の状況などを確認させていただきました。



【2年生：1年生への歌のプレゼント】

てる」や重点目標(努力目標や実践事項)等を含め、基本的には昨年までの坂本元校長先生の方針を引き継ぎたいと考えています。ただし、一つだけその中に、「児童一人一人が輝き、夢実現」というスローガンを掲げさせていたきたいと考えています。それは、私が教育行政職員として、永年いじめや不登校等の問題と向き合ってきたこと、また熊本地震からの復旧・復興のための学校支援に携わった経験から生まれた強い思いでもあります。

すべての子どもたちには、どの家庭に生まれようとも、どの地域で育とうとも、また災害等のどんな困難に出くわそうとも、自分の「夢実現」にチャレンジする権利がある。そのためには、まず子どもたち一人一人が「輝いている」ことが大切であり、そのお手伝いをするこ

とが私たち教職員の使命であると思っています。子どもたちは、いずれこの山北小を離れ、進学・就職し、それぞれの人生を歩んでいきます。その人生のベース(基礎・基本)に携わっていると

いう責任を自覚し、本校の全職員と共に学校経営に邁進する所存です。これが校長としての私の「夢実現」へのチャレンジでもあります。

五月二日から四連休です。

明後日から五月七日(日)まで、ゴールデンウィーク後半の四連休です。家族で一緒に過ごしたり、友達といっぱい遊んだり、楽しい思い出がたくさん作ってください。

ただし、この時期は、車の交通量も増えます。各学年の学級だよりでもお伝えしているように、交通安全教室を行ったところですが、子どもたちの交通事故防止に対しては、まだ万全とは思っていません。自転車車のスピードの出し過ぎによる転倒や、道路への飛び出しなどに十分気をつけて、安全に過ごしてほしいと思います。



五月二十七日(日)は運動会です

学校の大きな行事の一つに運動会があります。連休明けから本格的に練習が始まります。山北小の子どもたちの素晴らしさや頑張りを、家族や地域の方々に披露する大切な機会であり、子どもたちは精一杯準備して、当日に臨みます。

是非、子どもたちの力のこもった演技等を参観していただき、声援をお願いします。

また、保護者の皆様方には、五月十九日

(土)のPTA除草作業も大変お世話になります。

業も大変お世話になります。よろしくお願いします。

